

2021 年 4 月 14 日

パナソニック株式会社  
インダストリアルソリューションズ社  
産業デバイス事業部

### A Cサーボアンプ MINAS A6SE、A6SF、A6SG シリーズ、 ソフトウェアバージョンアップ (Ver1.12) についてのお知らせ

拝啓 春暖の候、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて標記の件、下記の通り、MINAS A6SE シリーズ、A6SF シリーズ、A6SG シリーズ（特注品）のソフトウェアを変更いたします。何とぞご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

- 対象機種： MINAS A6SE、A6SF、A6SG（特注品）シリーズのアンプ全機種  
（品番）

M \* D L \* \* \* S \*

↑        ↑                    ↑    ↑

左からMで始まり、3桁目・4桁目がDL、8桁目がS、9桁目がEまたはFまたはG

- 変更内容・理由： 機能向上のため、ソフトウェアバージョンを Ver1.11 から Ver1.12 に変更いたします。

N o .	機能	Ver1.11	→	Ver1.12
1	特殊機能選択 の追加	<Pr6.28「特殊機能選択」> 0：Block 動作無効(パルス列有効) 1：Modbus 通信起動による Block 動作有効(パルス列無効) 2：入力信号起動による Block 動作有効(パルス列無効)		<Pr6.28「特殊機能選択」> 0：Block 動作無効(パルス列有効) 1：Modbus 通信起動による Block 動作有効(パルス列無効) 2：入力信号起動による Block 動作有効(パルス列無効) <b>4：入力信号起動による              Block 動作有効 (パルス列有効)</b>
2	原点復方法の 拡張	<原点位置の検出方法> 1：原点近傍センサ(HOME)の 前端基準 + Z 相 2：原点近傍センサ (HOME) の 前端基準		<原点位置の検出方法> 1：原点近傍センサ(HOME)の 前端基準 + Z 相 2：原点近傍センサ (HOME) の 前端基準 <b>15：実位置セット</b>
3	位置コンペア機 能拡張	非対応		<Pr5.94「位置コンペア出力条件設定」> 0：正負両方向で有効 1：正方向動作時のみ有効 2：負方向動作時のみ有効
4		<パラレル I/O コネクタ入力> 非対応		<パラレル I/O コネクタ入力> 信号名：位置コンペア切替入力 記号：CMP-SEL a 接：17h、b 接：97h

No.	機能	Ver1.11	Ver1.12
5	C-MODE による トルク/位置制御 切替拡張	<Pr6.97「機能拡張設定 3」> bit15 メーカ使用	<Pr6.97「機能拡張設定 3」> bit15 モード切替制限機能 として、使用できます。

※変更内容の詳細は以下を参照ください。

#### 【変更内容の詳細】

##### **No. 1) 特殊機能選択の追加**

パルス列入力による位置制御時に、Block 動作を実行可能とするモードを追加しました。  
これにより、パルス列入力による位置制御時に、アンプによる原点復帰が可能となります。  
従来の仕様の範囲でご使用の場合はそのままご使用いただけます。

##### **No. 2) 原点復帰方法の拡張**

原点位置の検出方法の設定に「実位置セット」を追加しました。  
これにより、上位装置で検出した原点位置を 0 位置として位置制御を行うことができます。  
従来の仕様の範囲でご使用の場合はそのままご使用いただけます。

##### **No. 3) 位置コンペア機能拡張**

モータの回転方向に応じて位置コンペア出力を制限する機能を追加しました。  
本機能をご使用されない場合(Pr5.94=0)は、従来通りの機能をご使用いただけます。

##### **No. 4) 位置コンペア機能拡張**

入力信号による位置コンペア出力の有効/無効を選択できる機能を追加しました。  
インターフェイスコネクタ X4 の 50 ピンに割り付けが可能です。割り付けはパラメータ設定 SI1～SI10 で可能です。  
本機能をご使用されない場合は、従来通りの機能をご使用いただけます。

##### **No.5) C-MODE によるトルク/位置制御切替拡張**

速度ゼロクランプの入力に関わらず、C-MODE により、トルク制御から位置制御へ切り替えができます。  
Pr6.97 の bit15=「1」に設定すると使用できます。  
工場出荷時、インターフェイスコネクタ X4 は「速度ゼロクランプ入力 (ZEROSPD)」が 26 ピン、  
「制御モード切替入力 (C-MODE)」が 32 ピンです。  
本機能をご使用されない場合(Pr6.97 bit15=0)は、従来通りの機能をご使用いただけます。

※詳細は以下の資料を参照ください。

- SX-DSV02910 : MINAS A6 シリーズ技術資料 (基本機能仕様編)
- SX-DSV03033 : MINAS A6 シリーズ 技術資料 (Modbus 通信仕様・ブロック動作機能編)
- SX-DSV03282 : MINAS A6 シリーズ (DC24V/48V 仕様) 技術資料 (基本機能仕様編)

○技術資料ダウンロードページ

[https://www3.panasonic.biz/ac/j/dl/manual/index.jsp?series\\_cd=3514](https://www3.panasonic.biz/ac/j/dl/manual/index.jsp?series_cd=3514)

- Ver1.12 に対応したセットアップ支援ソフトウェア (PANATERM) は Ver6.0.4.0 以降となります。
- 従来のパラメータファイルをアンプに設定した場合、従来通りの機能をご利用いただけます。

■実施時期： 2021 年 6 月生産分より変更いたします。

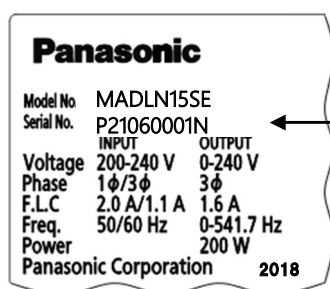
■確認方法：

・ソフトウェアバージョン確認による方法

ソフトウェアバージョンはセットアップ支援ソフトウェア（PANATERM）、  
または前面パネルのモニタモードで確認できます。

・製造番号(シリアルナンバー)より製造年、製造月を確認する方法

製品側面の銘板に記載の製造番号(シリアルナンバー)は下記のようにになっています。



製造番号（シリアルナンバー）

例 P21060001N

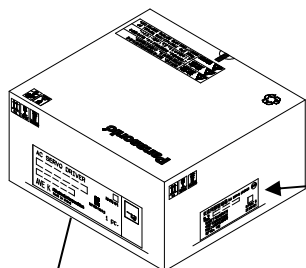
TTT 連番（4桁）

製造月（2桁）

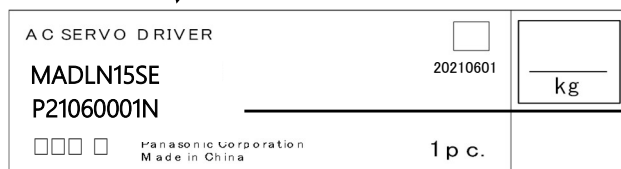
製造年（西暦下2桁）

これらの  
製造年、製造月を  
確認してください。

梱包箱正面のラベルに記載の製造番号(シリアルナンバー)は下記のようにになっています。



こちらのラベルには製造番号は  
記載していません。



製造番号（シリアルナンバー）

例 P2106001N

TTT 連番（4桁）

製造月（2桁）

製造年（西暦下2桁）

これらの  
製造年、製造月を  
確認してください。

以上